

四郷小だより

発行人 深川 昭久

夏休みが終わりましたが・・・

秋涼の候、暑さが残る中にも、朝夕少しずつ涼しさを感じるようになってまいりました。さて、夏休みが終わり、「さあ、やるぞ」という気持ちになっていた児童も多いと思います。しかし、緊急事態宣言が発令され、学校では授業の形態を変えたり、行事の変更をしたり等の対応をしています。保護者の皆様には厚いご理解とご協力をいただき感謝しております。

- ・9月2日以降の緊急事態宣言期間中は1～3年は学校での対面授業、4～6年は登校せずオンライン授業の実施です。
- ・運動会は10月23日(土)に延期しました。

○ 夏休みあけ初日(9月1日)

9月1日、夏休みあけの初日でした。例年は、全校集会を行い、そのあと、各学級で夏休み中の課題を提出したり夏休み中の生活や学習の振り返りをしたりします。

しかし、緊急事態宣言中ということで、1～3年生は午前中登校し、午後からは、分散登校で4～6年生が登校しました。

朝、各教室を見て回りました。1～3年の教室には感染症対策のために机に設置されたパーティション越しに久しぶりに顔を合わす友だちや先生と夏休み中の課題や生活のこと、感染症対策について話していました。

また、4～6年教室では各担任の先生が、オンラインで児童とつながり、朝の会をしていました。

左:昇降口前での検温 中:パーティション越しの児童の姿



右:オンラインで朝の会



○ 給食再開(9月2日)

今日から1～3学年に給食が再開されました。メインメニューは、シーフードカレーライスでした。

感染症対策として、3つの学年とも、児童を2つの教室に分け、少人数での給食としました。配膳は教員のみで行いました。また児童机にはパーティションを設置していますが、児童はおしゃべりせずに食事をしていました。



